

6月度の観察記録

カテゴリ : 2021年

_MD_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2021-6-13

2021年6月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"  
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

2021年6月13日(日) 9:30~11:20 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子

天気: 曇りのち雨 新型コロナウイルスの感染状況はなかなか改善せず、今月も自然観察会を中止することとなりました。以下を2021年6月の記録として残します。 **マサキの花**の白さが目立ち、近づいて観察すると花は咲き始めたところでした。 **アカメガシワの花**もちょうど開花の時期を迎えていて、マスク越しにもそのいい香りが確認できました。その奥の **ビワ**の木にはたくさん実がついていて、お店で見るものほど大粒ではありませんが、食べてみると甘さは十分でした。





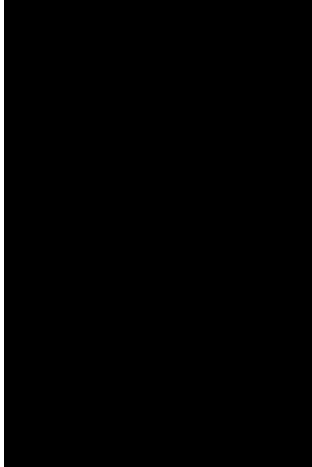
マサキの花 アカメガシワの雄花 ビワ
クワの実を見ると、ここ数年の様子と同じく白く乾いた状況のものが多くできていましたが、菌に侵されないで無事に熟した実はほとんどが食べられてしまったあとでした。

スホウチクは新しい竹が周囲に出て広がっていました。



スホウチク 残りわずかなクワの実
ウチワゼニクサが新しく発見されました。北米原産の園芸種で、人の手によって持ち込まれた可能性が高いようです。地下茎を伸ばして増えるので繁殖力が強いと考えられ、生態系に及ぼす影響を見据えて注意深く対応していく必要があります。

5月の記録で少し触れましたが、今年の春大坂池の周辺で



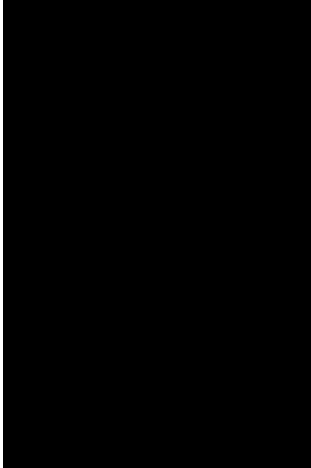
ウチワゼニクサ 大坂池の周辺ではキンミズヒキやネジバナ、ヘビイチゴなどを確認しました





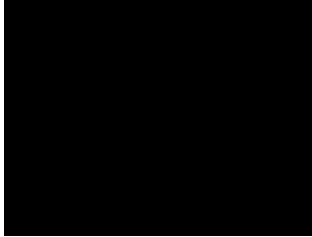
キンミズヒキ ネジバナ ヘビイチゴ
ミキリが発見されました。羽化してからそれほど長い期間が経過していないはずですが、よく見ると触角や脚の一部が失われていました。原因はほかのオスと戦ってみ切られたか鳥に襲われたといったところでしょうか。

またハンノキの根本で樹皮にかじり



ゴマダラカミキリ

その周辺で見られる白い花は春先のハルビネツバネへと移り変わって、数え切れないほどの数が咲いていました。中道に戻ると道沿いの木にホタルガがとまっているのが見られました。昼行性のガで幼虫はヒサカキを食べます。



ヒメジョオン ホタルガ
この日は実をつけていました。

春にピンク色の花を咲かせて愉ませてくれるツツジの仲間ですが、コバノミツバツツジ、モチツツジ、ヤマツツジの実をそれぞれ確認することができました。





コバノミツバツツジの実 モチツツジの実 ヤマトツツジの実 畑へ行くと黄色い花がたくさん咲いていて、一見何の野菜かわからずシュンギクの花と教えてもらいました。花は全体が黄色いものと花弁の外側が白いものが見られましたが、咲いてから色が変わるのではなく、変異があるようで最初から2種類の色の花が咲くそうです。花は食べても苦みが強く食用には向かないとのことでした。ソシンロウパイの偽果も目につきました。先月より濃く色づいていました。

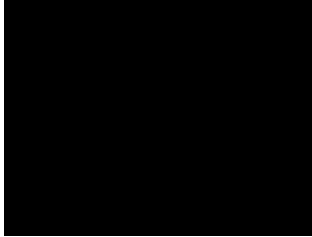




黄色いシュンギクの花 先が白いシュンギクの花 ソシンロウパイの偽果 畑の周辺ではそのほかにドクダミの白い花やカタバミの黄色い花が見られました。



ドクダミ カタバミ 中道~~び~~康の実やシャシャンボの実を見ました。どちらも春に白くて可愛い花を観察しますが、実をつけているところはあまり目に入らないものです。

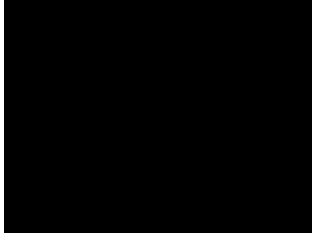


ネジキの実 シャシャンボの実
セノナミマイマイがついていました。また道の脇のマツの幼木の葉の中に埋もれた

雨が降り出しそうな気配になっていました。ツツヅの葉には
セマダラコガネ

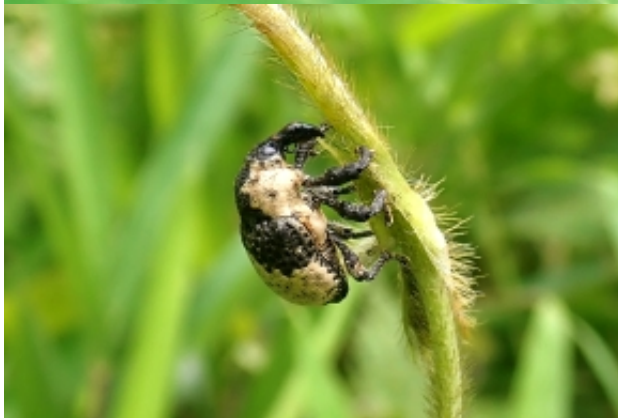
を見つけました。

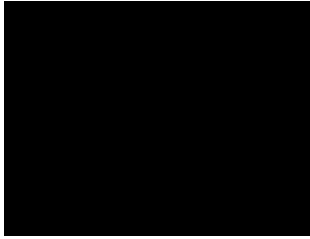




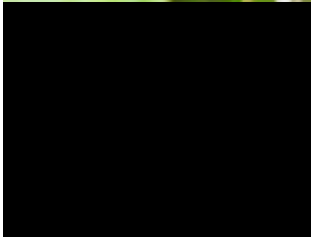
イセノナミマイマイ セマダラコガネ
すとコフキゾウムシが歩き回っていました。

クズの葉にたくさんの食痕が見られました。あたりを探
茎にしがみついたオジロアシナガゾウムシも見つかり

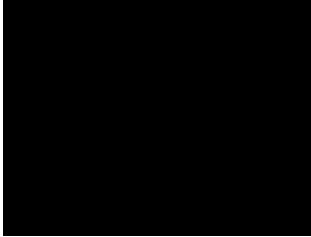




コフキゾウムシ オジロアシナガゾウムシ 続いて**田んぼ**に行くと田植えの済んだイネが美しく育っていました。今年の田植えは5月30日でした。田んぼの近くではシロツメクサの花に**ツバメシジミ**がやってきて吸蜜していました。シロツメクサはツバメシジミの幼虫の食草でもあります。

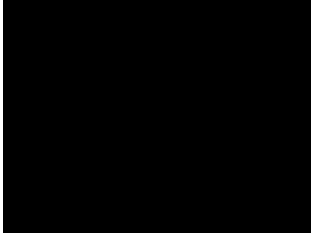


田んぼ ツバメシジミ **中道を避む**が群生しているところにさしかかり、葉を観察しました。今年出た若い葉はベージュの隈取りがなく明るい緑色をしていました。秋になると葉のふちが枯れてひと目で**クマザサの葉**とわかる模様になります。



若いクマザサの葉　クマザサの葉　**コムラサキの花**は咲き始めたところでした。葉は何かを食べられた跡がありましたが、あたりに虫の姿は見当たりませんでした。その先で若齢のスズメガの幼虫が見つかりました。その幼虫がついていた植物はその場ではヤマノイモであろうと思いましたが、あとでイモムシハンドブックで調べると幼虫は**ホシホウジャク**の幼虫であり、そうであるとすればついていたのはヘクソカズラの葉だったことになります。





コムラサキの花 ホシホウジャクの幼虫

ところでこの日は歩き始めてから間もなく、大坂池を過ぎたあたりで、オオヨシキリが鳴いている声が聞こえてくるのに気づきました。「ギョウギョウシ」と聞きなされることが知られていますが実際には相当な早口でにぎやかに鳴き続けていました。スズメより一回り大きいくらいのサイズの鳥ですが、遠くまでよく通る大きな声です。中道を進むにつれてその声は近くなり、田んぼの隣の**アシ原**の中から聞こえていることがわかりました。すぐそばで鳴いているように思われましたが、残念ながら姿を確認することはできませんでした。

ところでこの日は歩き始めてから間もなく、大坂池を



繁茂するアシ

もうウマノスズクサの様子を見に行きました。去年の6月の自然観察会では花が咲いているのを観察しましたが、この日は花は見つかりませんでした。帰り道ではズミの木にも緑の実がついているのを見ました。里山の家の横の作業棟で、今月のはじめに田んぼで発見されたクサガメが一時保護されていました。右の前足は失われていて小さい頃にカラスなどに取られたのではないかとのことでした。また甲羅の後部に穴が開けられていて、これは以前新池でマーキングした時のものということでした。そして甲羅にある年輪のような層の数から推定される年齢は15、6歳以上とのことでした。新池から田んぼまでこの足の不自由なクサガメが歩いてきたと考えると、カメにとってはかなりの道のりだったはずですが、何しろ無事でよかったですと思わずにはいられません。



ウマノスズクサ ズミの実 クサガメ

この日の天気予報は曇りのち雨でしたが、歩き始めた頃の空は明るく傘は要らないのではないかと考えられました。しかし11時を過ぎると弱い雨が降り始め、11時15分頃には本降りとなってしまう、記録会は早めに切り上げました。今出ている3度目の緊急事態宣言は6月20日までの予定です。新型コロナウイルスの感染状況がこのまま終息に向かい、来月こそ通常の自然観察会が開かれるよう願っています。

平和公園での観察項目：マサキの花,アカメガシワの雄花,ビワ,スホウチク,タイワンタケクマバチの巣穴,ウチワゼニクサ,キンミズヒキ,ヘビイチゴ,ジガバチ,ネジバナ,ゴマダラカミキリ,ヒメジョオン,ヒメトラハナムグリ,コバノミツバツツジ,ネジキの実,ホタルガ,ツマグロヒョウモンのオス,シュンギクの花,モンシロチョウ,カタバミ,ナナフシモドキ,ソシンロウバイの偽果,ドクダミの花,イセノナミマイマイ,サルトリイバラの実,コフキゾウムシ,オジロアシナガゾウムシ,セマダラコガネ,シャシャンボの実,田植えの済んだ田んぼ,アメリカザリガニ,ヤマトシジミ,キリの幼木,カキノキの実,コムラサキの花,クマザサ,ホシホウジャクの幼虫,カンゾウの仲間,カラタチの実,ウマノスズクサ,アシ,ツバメ,オオヨシキリの声,ウシガエルの声,ヤマウルシ,ズミの実,コバノミツバツツジの実,モチツツジの実,ヤマツツジの実,クワの実,コクワガタ,オオスズメバチの女王,クサガメ?